

巡回健診 腹部超音波検査 マニュアル

【観察臓器】

肝臓 胆嚢 胆管 腎臓 脾臓 膵臓 腹部大動脈

【走査法について】

必ず体位変換を実施し、検査を行ってください。

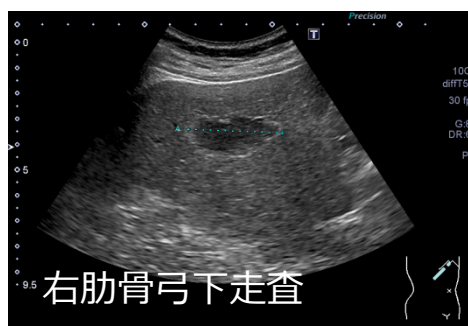
左右側臥位は必須とし、膵臓の描出が悪い時は半座位も活用してください。

体に障害をもっている方など、体位変換が困難な場合は省略して構いません。

【画像の撮り方】

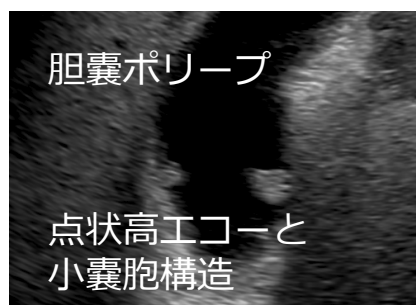
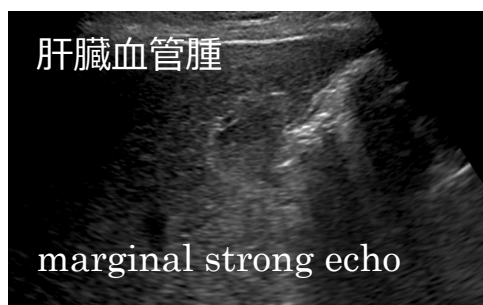
- 規定の写真6枚は1画面で記録し、それ以外の所見等については1画面、2画面を問いません。
- 腫瘍性病変を認めた場合は、2方向以上からの写真を撮るようにしてください。

写真例



※2画面表示で左右に撮っても構いません。

- 計測は最大径のみで構いません。（2方向計測は不要です）
- 超音波サイン（marginal strong echoやchameleon sign、comet signなど）がわかりやすい写真を撮るように心がけてください。



- Viamoの画像は、ゲインが高いとぎらつきやすいので、やや絞り気味の方が良い写真が撮れます。部屋が明るいとうゲインを上げてしまいがちですので、注意してください。
- 所見がはっきりしやすいように、拡大表示の利用とフォーカス設定を行ってください。
- ドブラが診断の補助になる所見の場合は、積極的に活用してください。

【所見について】

2018年1月より、当プラザでは「腹部超音波検診判定マニュアル」の判定基準を採用しております。

巡回健診の場でカテゴリ分類などを記入していくのは時間的に困難ですので、施設内の技師が処理を行います。下記の注意事項に留意して所見を記入してください。

- 1) 所見用紙に記載されている所見に関し、当てはまるものに○をつけてください。
「腹部超音波検診判定マニュアル」内にある表記を採用しておりますので、所見名＝診断名となっております。
ただし、皆様つけた所見がそのまま診断となるわけではなく、職員や医師が最終的に判断をして判定となりますのでご心配いりません。
- 2) 所見として、うまくあてはまらないこともあると思います。
その際は、右の口欄内に手書きしてください。
- 3) 各所見の計測値は、用紙には記載不要です。
ただし必ず、計測した写真を残すようにしてください。
同じ所見が複数ある場合は、最大のものだけで構いません。

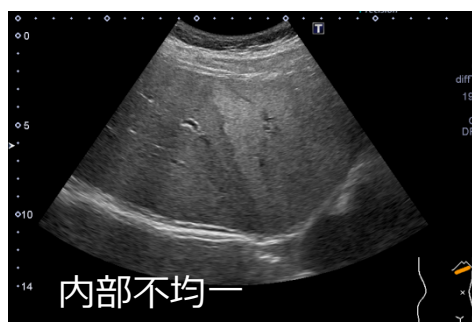
各臓器のチェックポイント

《肝臓》

腫瘍性病変は、2方向以上からの画像を残してください。

区域の記載は不要ですが、ボディマークを入れてください。

脂肪肝は、肝腎コントラストとの写真だけでなく減衰や不均一の有無がわかる画像を撮ってください。脂肪肝のとりすぎに注意。

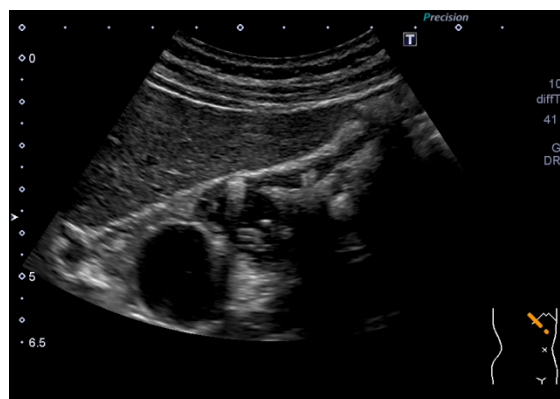


《胆嚢・胆管》

胆嚢の壁肥厚については、「胆嚢腺筋腫症」に所見を集約して頂いて構いません。

ただし、肥厚している部位や、小嚢胞構造（RAS）石灰化像の有無、などがわかる写真を撮っておくようにしてください。

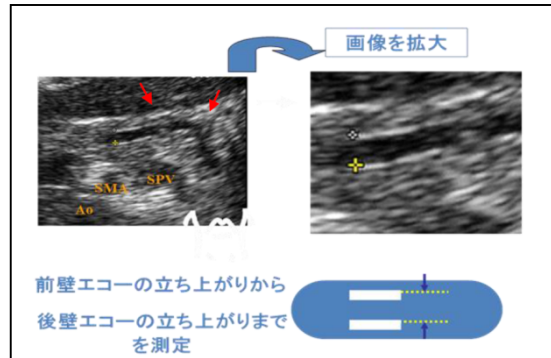
胆管拡張があった場合は、閉塞性病変の有無を確認してください。



《膵臓》

嚢胞、腫瘍性病変（嚢胞性、充実性を問わず）を認めた場合は、膵管の計測を行ってください。描出が困難な場合は、その旨記載してください。

膵管は、同マニュアル内にある計測法にて測定を行い、四捨五入で3mm以上であれば拡張所見としてください。



「腹部超音波検診判定マニュアル」より抜粋

《腎臓》

不整には辺縁不整、重複腎盂、馬蹄腎、ベルタン柱などが含まれます。
（ ）内に、詳細を記入してください。

《その他》

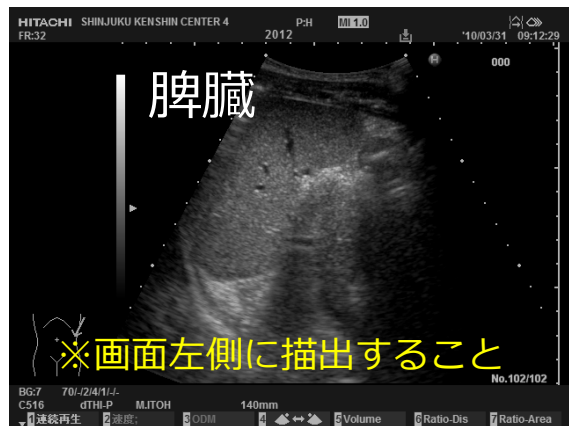
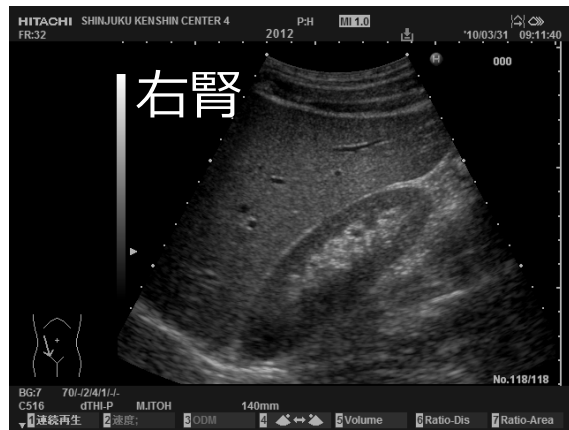
所見を認めた場合は、その他の欄に詳細を記載してください。

また、判断しにくい所見が見つかった場合はできるだけ多くの画像を残しておくようにしてください。対象臓器以外でも、異常が見つかることもあります。その際は、どの臓器に由来した病変なのかを可能な限り特定し、その特徴などをご報告をお願いします。

簡易チェックリスト

- 1) 体位変換を実施して検査すること。
- 2) 超音波サインがはっきりとした画像を残すこと。
- 3) 腫瘍性病変（嚢胞性、充実性問わず）は、2方向以上から見た画像を残すこと。
- 4) 画像調整を適切に行う。特にゲイン調整には注意すること。
- 5) よくわからない所見に遭遇した場合、場所や特徴がわかる写真を複数残す。

巡回健診 腹部エコー パターン写真



- 写真を撮るのはどの体位でもかまいません。
- 撮影する順番は問いません。

※2020年4月1日より腹部大動脈を追加いたしました。